

第9回神崎中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成27年8月4日（火）19:00～20:30

場所：こうぎき小学校1階ホール

○出席者 26名、欠席者 4名

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) 協議の取りまとめについて

- ・本地域協議会の報告書の取りまとめと教育長への提出時期について、資料をもとに事務局より説明した。

<質疑なし>

<確認事項>

- ・次回の地域協議会で報告書を取りまとめ、10月中旬に教育長へ報告書を提出すること。

(2) 報告書（案）について

- ・報告書（案）、地域協議会の取組経過、要望事項、関連資料について資料をもとに事務局より説明した。

● 報告書（案）の小中一貫教育を連携型で進めるか、併設型で進めるかについて

<質疑応答>

【委員】 小中一貫教育について今までの説明を聞いていると、教育委員会としては併設型のほうを薦めているような印象だが、もしここで全員の意見として連携型がよいとなったら連携型で進めるという事なのか。

【専門委員】 小中一貫教育自体は大分市全域でやっている。今やっている連携型をそのまま続けることも可能だし、連携型から一歩進めて併設型にすることもできる。併設型は今やらないとしても、今後みなさんの考え方が変わった時点で変更することもできる。

【委員】 地域協議会で決めるというのはどうなのか。今いる PTAやこれから入ってくる地域の方たちにアンケートをとるという事はできないのか。

【委員】 今まで視察にも行って併設型とか連携型とか話し合ってきた。今からアンケートとなるとここまで1年間費やしてやってきたことが無意味になってしまう。個人的な意見としては併設型で、尚且つ小規模特認校としてどこからでも来られるような魅力ある学校づくりを進めるのがよいと思う。教育委員会としても子どもが減ることに対してこれではいけないということで考えてくれていると思う。個人的には教育委員会に任せてよいと思う。

【委員】 3校が一緒になったあと、人数が少なくなって、先生も少なくなったとき、賀来小中学校では先生の数が多くて、勉強のできない子どもをみってくれるというところがあったが、こちらでは先生が少ないのでできないとか、そういう事になると困るのだが。

【専門委員】 この適正配置のスタートというのが、複式の学級編制となっている状況を改善して単学年で1つの学級が編制できるという目的でスタートしている。教員の数で考えた場合、去年木佐上小学で2学級、今年大志生木小学校で4学級で先生の数が少なかった。それが統合する事によって先生が少なくとも1学級に1人はいることになる。

こうざき小学校の現状からみると、統合することによって例えば併設型の小中一貫教育を目指せば、小学校と中学校で校長が1人減る代わりに教員は1人増える。さらに今の連携型を継続するよりは、加配教員が付きやすい環境が整う事が考えられる。

今の形で連携型を継続した時と併設型を進めようとした時にどちらのほうが先生の数が増えるのかと考えた場合、併設型にしたほうが実際に指導にあたる先生の数は確保しやすくなる。

【委員】 統合した後もどんどん人数が少なくなる。1年生が5人とかになった場合はどうなるのか。

【専門委員】 複式学級になるかならないかという事があるが、その前にもう1つ基準がある。今の基準でいうと、全校の児童の数が105名を下回ると、1人先生が削減される。資料の48ページに統合後の子どもの数と学級数がある。このままの推計でいくと、平成32年が108名である。この年までは6学級に対して教員が7名いる。校長、教頭とは別に授業を担当する教員が7名いる。翌年の平成33年は全校児童が105名を下回るので、教諭が1人減る。同じ学級数であっても子どもの数が多いほうが先生が多いという状況になる。

さらに少なくなってくると、隣りあった学年が14名までは複式となる。例えば3年生が7名、4年生が7名になると3年生、4年生を合わせて14名だから、この場合は複式となる。組み合わせた場合に15名を下回れば複式になってしまう。例えば1年生が3名とか4名ということになると、1年生だけは特例で複式にならないが、次の年から2年と3年の複式になる可能性が高くなる。子どもの数を確保しておくのは、子どもの教育環境を守るためには必要だということである。

【委員】 併設型に変えてやってみて、また保護者のほうから反対の意見が出たら連携型に戻るという事もできるのか。併設型にしたら、ずっと併設型でいかないといけないという事なのか。

【専門委員】 学校教育法が変わり28年4月から、小学校でも中学校でもない9年制の義務教育学校を設置できるようになった。一旦、義務教育学校にした場合、小中学校がそれぞれ独立した連携型に戻せないことはないが、条例を変える必要があり、議会での議決が伴うので一定の時間がかかる。しっかり話し合っていたきたいと思っている。

【委員】 保護者の方に聞きたいのが、なぜ連携型がよいのか、併設型がだめなのか。統合されたから併設型になるのではなくて、28年度からこの事について話し合うということで、まだ時間的に協議する機会があるので、この点は併設型がよい、この点は連携型がよいという具体的なものを挙げたほうがよいのではないかと思う。私も賀来小中学校に視察に行ったが、校長先生も欠点というのは見つからないと言っていた。保護者も是非そういった事を信じてやってほしいと思う。

【会長】 教育委員会が選択して失敗する方向にもっていくわけではないので、問題点があれば改善しながらやっていく。失敗のないように十分取り組んでくれると思っている。併設型、連携型の両方の意見があるが、我々としては意見がまとめられないという事で、教育委員会が設置者であり責任者であるので、方向性についての決定を任せ、我々はそれに協力していくということでは

いか。

<確認事項>

- ・統合後の目指すべき方向性について、教育委員会に決定を付託すること。
- ・地域と学校、教育委員会が連携して新たに生まれた学校が成功していく方向で三者が今後も取り組んでいくこと。

● 要望事項について

<質疑応答>

- 【委員】部活で遅くなって帰ってくるときに、通学路の暗い所が多い。非常に危険だなという部分が何箇所かあるので通学路の安全性という観点から、街灯の設置箇所を増やすという事を要望事項に挙げてもらいたい。
- 【委員】木佐上の子がスクールタクシーで乗り降りしている場所があるが、今後大志生木も同じようにスクールタクシーを利用することになれば、今の乗降場所が非常に混雑することが考えられる。普通に歩いて来る子どももいるし、たくさんタクシーが来るという事で、その時の安全が確保できる場所を考えてもらいたい。
- 【専門委員】子どもの安全については当然のことと考えている。学校の周辺整備をしなければと考えているが、来年度こうざき小学校はプールの改築も予定されているので、工事エリアと安全な乗降場所の確保を十分検討していきたい。
- 【委員】大志生木から路線バスで通学を希望する方もいると思う。それで、こうざきのバイパス沿いのバス停に待合室がないので、雨が降ったりした時には困ると思う。全員がバス通学するわけではないがバス停の待合室を検討してもらいたい。
- 【委員】小学校から体育館までの移動で、雨が降ったときには大変なので屋根のある渡り廊下などを検討してもらいたい。
- 【専門委員】プールを改築するにあたって、プールから体育館までの渡り廊下については整備するように考えている。学校から道路の上の橋を渡ってグラウンドに行っているが、そこに屋根をかけるのは国交省から許可がでない、要は屋根を造った事によって落下物の安全性の問題という事があるため、その辺の事情で改善がなかなかできない状況である。
- 【会長】校舎を今の位置にもってきた経緯というのは知っているが、バイパスが通るといことが前提であった。もともこのこうざき小学校はグラウンドのあるほうの一番北側にあったのだが、校舎があってグラウンドが狭かった。子どもたちの体力向上とかいろいろ考えたらグラウンドは広くほしいという事で校舎をバイパスを挟んでこちらに造らざるを得なかった。
- 【委員】こうざき小学校も三十数年は経過していると思うのだが、耐震とかいろいろ劣化している部分の調査をしてもらいたい。
- 【専門委員】大分市内のすべての小中学校の校舎は耐震化は終了している。地震が起きても文科省の示す耐震度は確保できている。建物の補修については学校のほうから要望を提出してもらおう

ことになる。

<確認事項>

- ・要望事項については、それぞれの学校で集約をして会長、副会長へ提出すること。

(3) その他

- ①第10回地域協議会の開催について、事務局より説明した。
- ②神崎中学校長からの連絡として、小中一貫教育の情報発信に関するアンケート調査について説明があった。
- ③神崎中学校PTA会長から神崎中学校サポーター制度への参加協力に対する感謝の言葉が述べられた。

<確認事項>

- ・第10回地域協議会を10月6日（火）の19時から、こうざき小学校1階ホールで行うこと。

4. 閉会のことば